

住民支え合い活動支援事業

取り組みに至る背景・事業の目的

災害時に必要な情報を表記した「災害時住民支え合いマップ」を作成する取り組みを通して、地域住民の主体的な参加や地域に即した創意と工夫による地域福祉活動を支援し、住民相互の助け合いや交流を広げ、安心して生活できる地域社会づくりを目的とする。

事業内容

- 災害時住民支え合いマップづくりの推進
 - ・支え合い活動実践講座開催
 - ・マップファシリテーター（会議推進役）養成講座参加
 - ・マップ作成出前講座開催
 - ・マップを使った避難訓練の実施
 - ・井戸水水質検査実施（2ヶ所）
- 住民支え合い活動づくり
 - ・ボランティアの集い開催
 - ・先進地視察（中条村・松本市・駒ヶ根市）
 - ・県外社協との情報交換（群馬県社協で実践発表）
 - ・傾聴ボランティア講座開催
 - ・まちかどシンポ、支え合いセミナー参加



事業効果

- 地域を見直す道具としての「災害時住民支え合いマップ」を活用することにより、地域の絆がより深まった。
- 先進地の情報を学びながら、自分たちの地域の安心・安全を確保するため、独自の支え合いの取組みの実践が見られるようになってきた。
- 社会福祉協議会と行政が同じ方向で住民をサポートすることにより、住民の理解がより一層深まった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- マップを切り口に地域を見直し、自分達が住みよい地域づくりの推進、支え合い活動の実践を展開していく。
- 「地域支え隊（仮称）」活動を立ち上げ、村内全体に支え合いの輪が広がるような継続活動を行っていく。

【選定のポイント】

行政のみでは把握しきれない詳細なマップ作成はモデル性が高く、安心・安全な地域づくりに大きく貢献している。

団体名	大桑村社会福祉協議会（大桑村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	大桑村社会福祉協議会	事業費	1, 119, 639円
電話	0264-55-3755	支援金額	1, 119, 000円